

特別企画

子どものころ 憧れた仕事

会員から、子どものころに憧れた仕事を大募集。憧れの姿に変身!?

神奈川支部
鎌田 雅子さん
「中学の社会科の先生」



北関東支部
佐藤 康平さん
「サッカー選手」



東京支部
渡辺 文恵さん
「ラジオパーソナリティ」



私たちはキャリアコンサルタントの資格をこのように活かしています!

小林 隆哉さん / 窪田 浩一郎さん / 青木 幸司さん

私たちは

キャリアコンサルタントの資格を このように活かしています！



小林 隆哉さん

企業内キャリアコンサルタント／神奈川支部

キャリアコンサルタントの資格を取得したものの、どのように活かしていったらよいかかわからないという声をよく耳にします。今回の特集は、キャリアコンサルタントの資格を活かして、実際の現場でご活躍中の3名の方に、資格を取ったきっかけ、カウンセラーの仕事を選んだ理由、資格をどのように活かしているか、今後のスキルアップに向けての抱負についてお話を伺いました。

資格を取ったきっかけは何ですか？

「小林」 10年ほど前にIT企業において、自治体や政府情報システム領域の事業責任者を担当しました。着任当時、いくつかのプロジェクトが赤字に陥っており、事業の健全化が喫緊の課題でした。赤字プロジェクトは、担当する社員のモチベーションを著しく低下させ、心身ともに疲弊させていきます。そのことが生産性を悪化させ、品質も劣化していくという負のスパイラルに陥っていきます。改善手段としては、トツ

「窪田」 退職の後も、できることならばこれまでの経験を活かしてもう少し働きたい、という気持ちでいましたが、高齢者を採用する企業はなかなか見当たらず、どうしたものかと思っていた時、30年以上キャリアコンサルタント（以下、キャリアコン）として活躍している中学時代の同級生から、キャリアコンで働いている人の中には高齢者も多くいる、キャリアコンならこれまでの経

「青木」 50歳でのCDP研修で、今後のキャリアプランについて考える機会がありました。定年以降も含めた人生について自問自答した結果、早期退職制度に応募してキャリアコンサルタントを目指すことを決断しました。まずは心理系の勉強をしようと思

「小林」 「傾聴」「対話」による改善活動を現場で実践的に経験し、その理論的根拠を探しているうちに「カールロジャーズ」の来談者中心療法にたどり着きました。そこからキャリアコンサルタントの資格があることを知り、資格取得を決めました。

今の仕事を選んだ理由は何ですか？

「青木」 50歳でのCDP研修で、今後のキャリアプランについて考える機会がありました。定年以降も含めた人生について自問自答した結果、早期退職制度に応募してキャリアコンサルタントを目指すことを決断しました。まずは心理系の勉強をしようと思



窪田 現在、某県立高校で就職支援の仕事をしていますが、この仕事への応募理由としては、私が生徒の就職活動を支援することで若者の将来の幸せにいくらかでも貢献できればそれは私にとって嬉しいことと思ったこと、また求人ニーズのある企業に対しても労働力の確保という点で貢献することもできる、さらにマッチングに際しては、企業、事業に対する理解は不可欠で、人事も含め企業の管理部門に長く勤めてきた私の経験も活かせるのではないかと、そんな気持ちで応募しました。

青木 CDP研修をきっかけに将来の自分を考えていく中で、キャリア支援を通じて人のお役に立ちたいとの思いが強くなり、キャリアコンサルタントを目指そうと考えましたが、キャリアコンサルタントとして独立する前に実務経験を積む必要性を感じました。そこで、神奈川CC研究会などの勉強会や、地域連携委員会を通じた高校での模擬面接、キャリア面談などの実践の場に参加する経験をした後に、縁がありハローワークに入職することができました。

資格をどのように活かしていますか？

小林 現在勤めている会社において、昨年「キャリア相談室」を開設しました。そ



窪田 浩一郎さん
高校での就職支援／神奈川支部

ここでは「上司に相談しにくい」「テレワークで上司や課のメンバーとのコミュニケーションが希薄になった」などの相談が数多くあります。この状況を改善するためには、組織への働きかけが必要だと判断し、人事部や関連部門と連携し、組織文化を容れ、上司と部下の「対話」を促進するために、セミナーや、ワークショップの開催を企画しています。

窪田 「国家資格 キャリアコンサルタント」の資格がなければ、現在の高等学校での就職支援の職には就けなかったもので、「どのように活かしているか」と言われれば、「就職に活かすことができた」と言えると思いますが、資格取得を通じて勉強したことで役に立っている、という意味でいえば、やはり「傾聴」です。この技法を会得し使ひこなしているとはとても言えませんが、しかし相談時の基本姿勢としています。

青木 現在は、ハローワークで障がい者の就職支援に携わっており、就労支援機関と連携しながら、さまざまな障害をお持ちの方との面談を行っています。面談を通じて、目の前の相談者の話をしっかり聴くことによる関係構築の大切さを実感しています。また、キャリアコンサルタント養成講習の演習講師として、キャリアコンサルタントの育成にも関わっています。

今後、更なるレベルアップを目指し
どのようにしていきたいと思っ
ていますか？

小林 カウンセラーとしては、更新研修受講による知識・技能の向上を心がけていきます。また組織文化の変容のために、現在は共創アカデミー(株)という会社の企業講師の認定を目指して特訓中です。それによって社員を集めたワークショップや研修が開催できるようにレベルアップを目指していきます。

窪田 現在の職に就き半年が経過したばかりですが、多くの生徒たちは、就きたいと思う職業を具体的には描けておらず、当然性格も千差万別、中には複雑な家庭環境の生徒もいたり、なかなかロールプレイのように話は進みません。生徒達には、自

分の将来を真剣に考え、就職活動に積極的に取り組んでもらいたいと思うのですが、生徒たちにどう向き合っていくか、カウンセラーとしての未熟さを痛感しており、就労支援の経験をお持ちの先輩に、是非教えを乞いたい、それが必要だと思っています。

青木 キャリアコンサルタントとして幅を広げるために、世の中の動きに常に関心を持ちながら、継続的に周辺知識を習得しようと思つています。今関わっている障がい者支援はとても奥が深い分野で、更なる自己研鑽が必要であり、将来的には精神保健福祉士の資格にもチャレンジしていきたいと思っています。また、交流分析の研修や勉強会に積極的に参加し、キャリアコンサルタントとしての見立てに役立てていきたいと思っています。

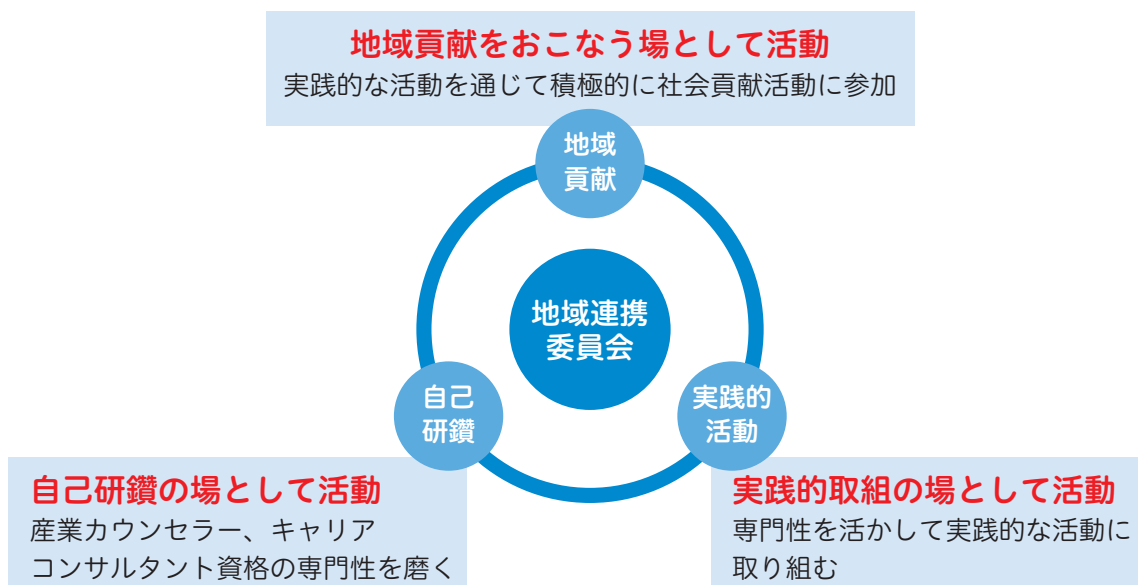


青木 幸司さん
需給調整機関での就職支援／神奈川支部

第8回 地域連携委員会

地域連携委員会とは

地域連携委員会は2012年に神奈川支部に発足した組織で、協会会員の知識・スキルを「自己研鑽」するとともに「実践的な取り組み」により「地域貢献」をおこなう活動の場を企画運営しています。



活動は、特定テーマやイベントでの実践活動に向けて参加募集をおこない活動する「プロジェクト（PJ）活動」、毎月異なるテーマで開催される「月例研修」があり、ご予定やご関心に依じて、都度参加判断いただけます。地域連携委員会の活動は、協会の会員でしたらどなたでもご参加いただけます。

地域連携委員会は、ひとつの活動ではなく、各プロジェクトに分かれての活動を行っています。コロナ禍以前は、傾聴実践PJ・高校模擬面談PJ・キャリア授業PJ・スター誕生 / ドリームPJ・心の未病PJ等の活動に分かれて実施され、月例研修として勉強会のような活動を行っていましたが、現在は活動の制約もあり、3つのPJを中心とした活動を行っています。

今年度の高校模擬面談PJは8月と9月に実施。心の未病PJは神奈川支部 Facebook でのインタビュー企画。傾聴実践PJはコロナ禍で高齢者施設の訪問ができないので、ボランティアで実技指導者の方々のお力添えを頂き、zoomでのオンライン傾聴訓練を、7月と10月に実施済み。次回は2023年1月14日に実施予定となっています。

また、2023年2月25日（土）はオンライン上での「地域連携委員会の集い」を実施予定です。登録の皆さまの交流の場として、お気軽にご参加ください。

協会の会員の方であればどなたでも参加いただけます。



44690425@ra9.jp

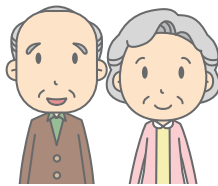
上のアドレスに空メールをおくっていただき、連絡ツールにご登録ください。
ご登録された方には、活動のご案内の連絡をさせていただきます。

活動の一例

コロナ禍で今年度も活動ができていませんが、以前はこのような高齢者施設で傾聴の活動を行っていました。いつでも傾聴実践が再開できるように、地域連携委員会で傾聴の訓練の準備をしておいてはいかがでしょうか？皆さまのご参加をお待ちしております。

傾聴実践場所

潤生園 れんげの里（小田原市）



SOMPO ケア ラヴィーレ北鎌倉（鎌倉市）



ふれあいの泉（鎌倉市）



小規模多機能しおり 平戸（横浜市戸塚区）



SOMPO ケア ラヴィーレ金沢八景（横浜市金沢区）



ヴィンテージ・ヴィラ横浜（横浜市旭区）



傾聴実践参加者の声

高齢者の方の中には、認知症の方や積極的にお話されない方もいます。人生の大先輩の横にいて、ただただ同じ時間を共有するといった経験も、聴こう聴こうとしていた私にとっては、普通の活動をしているだけでは経験できない、とても貴重なものになり、得難い時間でした。傾聴実践に行ける日を心待ちにしています。

地域連携委員会 高校訪問—模擬面接授業—

今年は8月と9月の3日間、2校を訪問し、進学や就職の面接試験の試験官として模擬面接を実施しました。毎回10名ほどが2人一組になり学生4、5名グループを対象に面接試験のマナーの説明を行い、受け答えを練習しアドバイスしました。高校生からは「初対面の大人がしっかり聴いてくれて、初めは緊張したけど練習して自信がついてよかった」との感想がありました。参加者の感想をご覧ください多くの皆さまのご参加をお待ちします。

模擬面接授業参加者の声

行く前は高校生とどこまでコミュニケーションが取れるか不安でしたが、実際には高校生は練習する毎に積極的になり、アドバイスを吸収してぐんぐん上達していくのに驚きました。特に高校生同士がお互いの良いところを吸収し、的確で前向きなコメントを互いにしてくれたのが素晴らしかったです。高校生はとても柔軟で成長意欲に溢れていました。この実像に触れられたのがとてもいい経験でした。また高校生の話をしっかり傾聴しながら進めました。聴くほどに高校生が積極的に話をしてくれるようになったと思います。傾聴の大切さを改めて感じました。貴重な経験をありがとうございました。

土井 健

今年も楽しく参加させていただきました。生徒さんが練習を重ねることで、入退室や受け答えが上達し、質問も出て来るようになるのが、この活動を続けている原動力となっております。また、研修委員として、事前研修の進行役もさせていただきました。ファシリテーションや時間管理等、反省すべき点多かったのですが、とても勉強になります。来年以降も引き続き参加されたい方は、是非研修委員にチャレンジしていただくことをお勧めいたします。

高野 大輔



今年度初めての「はまカフェ」を開催しました！

2022年9月30日(金)18:30より、今年度初めての「はまカフェ」を16名の参加者のもと、オンラインで開催しました。

今回は、「産業カウンセラー、キャリアコンサルタントの資格を活かして、どのように活動したらよいか？」をテーマとして、最初に司会者から自身が資格を活かして、キャリアコンサルタントとしてどのように活動しているかについてお話しさせていただいた後、参加された皆さまとの質疑応答を行いました。

参加された 皆さまからの声



- キャリアコンサルタントとして、独立してやっていけるだろうか？
そもそもビジネスとして成り立つのだろうか？
- キャリアコンサルタント養成講習を修了しただけで、実際に相談を受けて最後までできるか不安である。
- シニア産業カウンセラー育成講座の内容について知りたい。
- 国家資格のキャリアコンサルタントを取得した後、キャリアコンサルティング技能士の資格を目指した方がよいのか？
- ストレスチェックの集団分析に関わっているが、ストレスチェックアドバイザーの研修内容について知りたい。

会員の皆さんにご自身の趣味を語ってもらうコーナーです。

4 堂田 政志さん

(神奈川支部)



雑然としていますが、
製作現場とこれまでの作品（一部）

趣味は色々あるので、ここ数か月プラ模型作りに熱中しています。若い頃にも一時凝ったことがありましたが、仕事が多忙になるにつれて離れてしまいました。

プラ模型への取組み方は、人それぞれ色々あると思います。部品を図面通り接着して構造物を製作する楽しみ、綺麗に着色してリアルさを追求する楽しみ、改造して現物のような出来栄にするなど。私は改造まで行う技術は持っていませんが、部品毎に塗装し完成した後は見えなくなる部分も精密に組上げるところに魅力を感じています。毎回、今度こそは完璧に仕上げようと挑みますが、まだ満足のかゆく出来映えがないのが次の製作への意欲につながっています。

プラ模型作りで困ることは作品が増えると置き場に困ることですね。長く続けるには、その点の工夫が必要な趣味と思います。

趣味しゅみ
everybody♪
エブリバディ



CONTENTS

- 2 私たちはキャリアコンサルタントの資格をこのように活かしています！
- 4 事業部紹介第8回「地域連携委員会」
- 7 今年度初めての「はまカフェ」を開催しました！
- 8 趣味しゅみエウリバディ 第4回 堂田 政志さん（神奈川支部）
- 事務局だより／かもめ便りの表紙を飾る会員の皆さんを募集します！
- 編集後記

事務局だより

2023-2024 年度 支部運営協議員および支部監事立候補を受付けます。

来年度より2年間を任期とする当支部運営協議員および支部監事への立候補を受付けます。「役員候補者ならびに運営幹部および運営協議員および支部監事の選出に関する規程」(第17条)に基づき、神奈川支部所属の会員で会員20名以上の推薦をもって立候補することができます。

立候補受付：2023年1月5日(木)～1月18日(水)

申込先：神奈川支部 総務部宛に郵送にて申込むこと

〒231-0062 横浜市中区桜木町3-8 横浜塩業ビル6F
総務部宛

申込用紙：神奈川支部ホームページからダウンロード願います

かもめ便りの表紙を飾る 募集します！ 会員の皆さんを

会員部ではかもめ便りの表紙への掲載を希望される方を募集しています。今号掲載の3名の皆さんからは次のようなコメントをいただきました。

私たちは2014年に産業カウンセラー養成講座を受講してから、月1回のペースでコロナ禍にも負けず、勉強会を続けています。皆さんも是非、お仲間と一緒に掲載いかがでしょうか。

● 鎌田 雅子さん

中学の時の先生に様々な視点から歴史を知ること、学び続けることの大切さを教えていただきました。先生の後を追いついたらキャリア教育を担う大学教員になってました。Planned happenstance！学び続けます！

● 佐藤 康平さん

小学校の卒業文集にサッカー選手と書きました。近所のクラブで小4からサッカーを始めました。当時はマイナースポーツでしたが、コーチのテクニクには皆が憧れました。50歳を超えた今もフットサルを楽しんでいます。

● 渡辺 文恵さん

子どもの頃ラジオを聴くのが好きでした。楽しいおしゃべりや音楽を聴くと楽しい気持ちになりました。自分も曲紹介を真似してカセットレコーダーに吹き込んだりして遊んでいました。

編集後記

かもめ便りは前身の神奈川地区ニュース、産業カウンセリング神奈川を含め、今号で通算100号に到達しました。次号では100号までの歩み特集する予定です。

さて、今号は前号に引き続き「資格を活かす」をテーマに、2つの記事を掲載しました。一つ目は、「私たちはキャリアコンサルタントの資格をこのように活かしています！」です。キャリアコンサルタントの資格を活かして、実際の現場でご活躍中の3名の方にお話しを伺いました。前号の産業カウンセラー編と合わせて、お一人お一人が今後の活動について考えるきっかけになれば幸いです。

二つ目は、資格を活かす実践の場の一つとして、「地域連携委員会」の活動内容についてご紹介させていただきました。実際の活動として、8～9月にかけて行われました高校での模擬面接授業についても、参加された方の生の声を掲載しております。

9月に開催しました「はまカフェ」では、資格を活かしてどのように活動しているかについての情報提供を行い、参加された方々から様々なご質問やご意見をいただきました。今後、会員部としては、会員の皆様の声を反映した新たなイベントを企画していきたいと思っております。最後に、今回の企画にご協力いただいた会員の皆さまにこの場を借りて深く御礼申し上げます。
(青木幸司)

かもめ便り

2022年11月
第54号(通算第100号)

発行日：2022年11月10日発行
発行：一般社団法人日本産業カウンセラー協会 神奈川支部

〒231-0092 横浜市中区桜木町3丁目8 横浜塩業ビル6F

TEL：045(264)9521 FAX：045(264)9013

E-mail：kmgzsy@a@counselor.or.jp URL：https://jico-kanagawa.jp

企画・編集：会員部支部報グループ

取材編集協力：株式会社コロポ